# Braintech Library Report

ブレインテック・ライブラリー・リポート

Vol.7

同志社香里中学校・高等学校 繋真館

## 生徒の動線上にある新しいメディアセンター 空間もOPACも工夫を重ねて更に使われるものに

同志社香里中学校・高等学校 繋真館

## 男女共同参画社会の実現をめざす 様々な活動を情報でバックアップ

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）情報ライブラリー

ブレインテック

# 生徒の動線上にある新しいメディアセンター 空間もOPACも工夫を重ねて 更に使われるものに

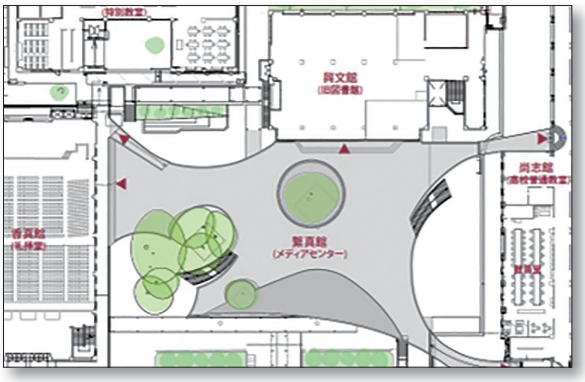
## 同志社香里中学校・高等学校 繋真館（けいしんかん）

大阪府寝屋川市にある同志社香里中学校・高等学校は、キリスト教主義・自由主義・国際主義の３つを柱にした教育を行う、学校法人同志社の中等教育機関です。1951 年に創立され、創立 70 周年を迎えた 2021 年にメディアセンター（繋真館）が生まれました。司書教諭の河村様、柳井様にお話をうかがいました。

### ICT 教育と図書館を融合させた新しい学習空間

**――簡単に、建物のご紹介をしていただいてもよろしいですか？**

はい。ICT教育と図書館を融合させた新しい学習空間として、卒業生の寄付金を原資に2021年４月に竣工しました。繋真館という名称は、「人と人、人と情報とを繋ぐ。校舎と校舎とを繋ぐ」というコンセプトと、ヨハネによる福音書第８章32節の「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする」という聖句に由来しています。




繋真館屋上階平面図（図版：NASCA 提供）

設計が高く評価され、第１回ねやがわ建築賞で最高位の市長賞を受賞しています。建築関係の雑誌にも多数取り上げられました。

**――コンセプト通り、キャンパスの真ん中に位置し、他の校舎からのアクセスも良いですね。曲線的な造りが印象的です。**

ありがとうございます。各校舎をメディアセンターの屋上広場が繋いでいるので、生徒の移動がスムーズになりました。屋上だけでなく、メディアセンター内も生徒の移動経路となっており、メディアセンターに用事がなくても、生徒は館内を行きかうことになります。

曲線的な造りについては、もともと中庭に植わっていた木々を、上手く取り込みながら建設されたため、このような特徴的な形になりました。館内中央部には、中庭の木を取り囲むように半円状に巡らせたガラス張りの窓に沿ってカウンター席が設けられ、生徒にも人気のスペースになっています。

**同志社香里中学校・高等学校**
〒572-8585
大阪府寝屋川市三井南町 15-1
TEL：072-831-0285（代表）
https://www.kori.doshisha.ac.jp/

**――近年、「探究」という言葉を耳にする機会が増えてきましたが、メディアセンターでは、教科との連携はありますか？**

この建物が完成してから、授業での活用が一気に増加しました。ラーニングコモンズ、メディアラウンジという２つの授業スペースがあり、探究活動の拠点として活用されています。本や雑誌を活用するのはもちろん、ICTも積極的に活用しています。

**――ICTの活用は、具体的にはどのようなことを行っているのでしょうか？**

中学生にはiPadを貸与、高校生は入学時にノートPCを購入してもらっています。メディアセンターにもiPadとPCを50台ずつ配備しています。高校生がiPadで動画制作をしたい、中学生がPCでプログラミングしたいという要望にも応えられます。中には、複数台を同時に使いこなす生徒もいます。各席には、電源とUSBポートも付いており、充電しながらの作業も可能です。

iPadやノートPCには、メディアセンターのOPACはもちろん、「朝日けんさくくん」や「ヨミダスforスクール」、Elsevier社の「Science Direct」などの有料データベース、「CiNii Research」や「Webcat Plus」などの無料データベースへのリンク集を用意しています。

## どの生徒にもわかりやすいように配架やサインを工夫

**――ICT教育が融合していますね。つづいて、図書館の所蔵資料について教えていただけますか。**

図書約７万冊、雑誌30タイトル、新聞（朝日・読売・毎日・日経・産経・キリスト新聞）などを揃えています。最近力を入れているのが、英語多読と学習マンガです。

英語多読のリーダーは複数の出版社のシリーズを揃えています。出版社のカタログやサイトを参考にしたり、英語科の先生とも相談して、一つ一つの資料に英検の何級相当かといった情報を貼ってあります。語数も合わせて表示しています。

マンガも置いてあります。やはりマンガは生徒に人気のあるコンテンツですし、読書への入り口としても効果があります。歴史の学習マンガの他、一定の評価を得ているマンガも選書しています。例えば、「科学道100冊」で選ばれた、『はたらく細胞』や『はじめアルゴリズム』などがあります。他にも、修学旅行先が北海道なので『ゴールデンカムイ』、社会科の教員からの推薦で『テルマエ・ロマエ』、他校の先生からお勧めされた『ハイキュー!!』等々が最近新しく加わりました。マンガは巻数も多いので、できるだけ完結した作品に限定するようにしています。

**――配架計画で工夫されたことはありますか？**

生徒がよく利用する文庫や新書の棚は、あえて館内の奥の方に配置しました。また前述のように、図書館も生徒の動線のど真ん中にあるので、その動線沿いの配架にも工夫を凝らしています。生徒が国語の授業で作成したポップと本を展示しているコーナー、『オレンジページ』、『日経エンタテインメント』、『Number』などの雑誌を並べたコーナー、映像化した作品を並べたコーナーなどがあります。しかし、通行する生徒を上手く取り込み切れていないのが現状で、今後更なる工夫が必要だと痛感しています。

**――館内に色々と掲示がありますが、上手く溶け込んでいますね。**

ありがとうございます。あまり掲示が多いとうるさくなってしまうので、最小限を心掛けています。書架の側面には、分類を示す数字だけでなく、ピクトグラムも表示しています。中１から高３までが利用する図書館ですので、わかりやすさを心掛けています。

## OPAC での情報発信を強化

**――情報館をお使いいただきいかがでしょうか。**

非常に使いやすいシステムだと感じています。業務のDXを進めており、背ラベルやバーコードラベルを情報館からの出力に切り替えました。OPACでの情報発信にも力を入れています。色々と設定を変更できるので、非常に便利です。館内案内図や利用案内をPDFで公開しています。生徒の作ってくれたPOPをスキャンして、書影データとして表示させたり、ブックリストを作ったりと色々と試しています。ブレインテックのWebサイトの「ユーザーのページ」に掲載されていた他校の事例をみて真似させてもらいました。

**――「ユーザーのページ」をご活用いただいているのですね。**

学校図書館は大学ほどWebサイト上に図書館の情報を公開していないことが多いので、「ユーザーのページ」で紹介されている学校図書館の事例はとても参考になります。他にも新機能や新しい設定ができたことがわかると、使ってみて、試行錯誤しています。より使いやすいOPACにしていければと思っています。

**――ご案内いただき、「人と人が集い、人と知識・情報を繋ぐ」というコンセプトが体現されていることを実感しました。使いやすいように改善しながら生徒の学びに真摯に向き合うお二人のために、私たちもこれまで以上に情報館の改良に力を尽くしたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。**

| | |
|---|---|
| システム構成 | 基本システム４台（ネットワーク）、OPACサービス（プレミアム版）（外部公開） |
| 蔵書数 | 図書７万冊、雑誌 40 タイトル、契約データベース５種 |
| 導入年 | 2006年 |

データは 2022 年 10 月現在のものです

# 男女共同参画社会の実現をめざす様々な活動を情報でバックアップ

## 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）情報ライブラリー

ドーンセンターは、大阪府の男女共同参画社会づくりの拠点施設として 1994 年 11 月に開館しました。女性情報の専門情報センターである情報ライブラリーのほか、女性の悩み相談を行うサポートカウンセリングルーム、大阪府女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）の機能もある複合施設です。情報ライブラリーは建物の 2 階にあり誰でも自由に利用できます。ライブラリースタッフの方にお話をうかがいました。

### 情報と出会うきっかけをつくる

――全国に男女共同参画センターは多くありますが、ドーンセンターとはどのようなところでしょうか。

愛称の「ドーン」は「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語の“DAWN”からきています。2016年度からは、ホールや会議室などの貸出を行う施設管理（貸館業務）と情報ライブラリーは指定管理によって運営されています。

情報ライブラリーでは男女共同参画社会の実現をめざす様々な活動を情報でバックアップするという目的のもと、図書、行政資料、雑誌、視聴覚資料、各種データなどを幅広く収集し、提供しています。特別コレクションには『資料 日本ウーマン・リブ史』発行の際に収集したビラなど原資料約700点を寄託されている他、女性労働研究の第一人者でドーンセンターの館長だった竹中恵美子さんの蔵書や研究資料を集めた『竹中恵美子文庫』があります。

ライブラリーカードを登録すると資料を借りることができます。大阪府内だけでなく隣接する府県の方も利用できます。郵送での貸出・返却にも対応しています。希望のテーマに沿って、図書、雑誌、行政資料などをまとめて貸し出す「テーマまるごとセット貸出」（30冊まで）というサービスも実施しています。

女性問題やジェンダーに関する専門的なコレクションを所蔵する一方で、誰でも利用できる施設という特徴を活かして、テーマ展示や特集コーナーを設置し、情報と出会うきっかけになるような棚づくりに取り組んできました。啓発週間や話題のテーマにあわせて資料展示を行い、ブックリストを作成、配布しています。

――どういった方々に利用されていますか。

大阪市中央区大手前という大阪府庁や大阪城に近い場所にあり、周辺にはオフィス街や学校もあるため、利用者の年代や目的もさまざまです。読書をしたり、館内でDVDを観たりして自分の時間を過ごす方や、仕事の情報収集や調べものに活用される方など、それぞれに合ったスタイルでご利用いただけるように心がけています。

気軽に立ち寄れる場所であることを知ってもらうため、本や映画に関心のある女性を対象に「ブックサロン」を定期的に開催するなど、参加型のイベントも行っています。また、フロア内には10代の中高生を対象にしたスペースを設置し、学校や自宅以外の居場所として利用できるようにしました。このスペースの近くには、少しでも関心を持っ

**大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）情報ライブラリー**
〒540-0008
大阪市中央区大手前 1-3-49
TEL：06-6910-8616
https://www.dawncenter.jp/

てもらえるようにジェンダーについて入門的な内容の図書を集めたコーナーを設置しています。机に相談先のカードを置くなど、頼っていい場所があることを伝えていくのも、ドーンセンターのような施設だからできることかなと思っています。

その他、閲覧スペースには曇りのアクリル板を設置して、視線を遮ることでプライバシーを確保しています。

**――サポートカウンセリングルームという部屋が併設されていますね。**

もともとは、情報ライブラリーのみのフロアだったのですが、今は施設の総合受付、サポートカウンセリングルーム、女性のためのコミュニティスペースがワンフロアにまとまりました。図書館があることを知らずにふらっと立ち寄られた方にも、情報ライブラリーの存在を知っていただき利用につながるように、動線やレイアウトを工夫するようにしています。

さらに、センターで研修会がある時はそこでライブラリーの動画を流してもらうなど、研修会参加者にもライブラリーが情報を探すサポートをしていることを知ってもらえるようにしています。学びにきて終わるのではなく、情報も持ち帰ってもらえればと考えています。

## 人と情報をつなげるレファレンス

利用者からの質問は情報相談として受付し、調べものや資料探しのサポートを行っています。ライブラリー設立時から、情報相談をサービスの最前線として取り組んできました。利用者のニーズに合わせて、さまざまな情報を組み合わせて提供するのが特徴です。

**――各地の男女共同参画センターや、その他の機関との横のつながりはあるのでしょうか。**

全国女性会館協議会に参加している館同士は事業のお知らせなどのやり取りがあります。

大阪府内の公共図書館とは、協力貸出という形で連携しています。利用者は近くの公共図書館を窓口にして、ドーンセンターの資料を貸りることができます。

学校関係では、ライブラリーツアーとして、見学を受け入れています。また、講師など人材情報の提供も行っているので、性教育の授業をしたいので講師を紹介してほしいというようなご相談もあります。こうした相談から、先ほどの「セット貸出」につながることもあります。質問を受ける時は常にどこにつなげるかを考えています。

**――人材情報の提供というのは珍しいサービスですね**

女性問題の専門家や各分野で活躍中の方々から提供していただいた情報をもとに「人材情報データベース」を構築しています。人材情報のほかにも、男女共同参画に関わる講座・イベントの案内や、相談窓口の情報、専門機関やグループの情報なども情報源になるので、チラシ１枚から収集しています。

情報相談の事例は、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに登録して、その一部は質問内容を編集した上で一般公開しています。

**――閲覧室に国立国会図書館長からのお礼状が飾られてい**

ました。

レファ協を活用することで、自館の事例を共有・蓄積するのはもちろん、一般公開することで情報ライブラリーの専門性を発信することになると考えています。2021年度もデータ登録の貢献が認められて、お礼状をいただくことができました。こうした外部からの評価は、実績になるとともに、日々の業務の励みになります。

これからも、集めた資料や情報を次にどう活かしていくかを考え、蓄積を続けていきたいと思います。

御礼状

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
情報ライブラリー　殿

貴館は国立国会図書館の運営するレファレンス協同データベース事業において左の成果を上げ当事業の発展に多大な寄与をされました

御協力に厚く御礼申し上げるとともに今後も当事業を通じ図書館界における一層のレファレンス・サービスの活性化に貢献されることを期待いたします

令和三年の年間データ登録ポイント　二八七ポイント

令和四年三月十六日
国立国会図書館長　吉永元信

## 情報館の導入で、業務の効率化と利用者サービス向上を実現

**――2019年12月に情報館を導入いただきました。**

開館時から独自の図書館システムを使って書誌データを登録しOPACを公開していましたが、書誌作成はすべて手入力、OPACも検索結果がダウンロードできないなど、業務効率上も利用者サービスの面からも利便性の向上が望まれていました。そんな中、センター全体のシステムを見直すタイミングで情報館を導入することができました。

システム移行の準備には半年以上かけました。独自システムからのリプレイスだったので大変でしたが、ブレインテックの担当の方が独自システムの項目一つ一つについてどう使われているかを丁寧にヒアリングして、それなら情報館にはこういう形で移行しましょうと提案してくださいました。

**――導入後まもなくコロナ禍になりましたね。**

2020年、21年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設の臨時閉館や利用の制限があり、通常のサービス提供ができない状況でしたが、OPACのカレンダーやお知らせの機能を活用して、利用者へ正確な情報をスムーズに案内することができました。

OPACが新しくなったタイミングでコロナ禍に入ったこともあり、検索して問い合わせてくる利用者が増えました。

さらに2020年８月、非来館サービスの一環として利用者自身がWebから予約できるようにしたので、予約件数も増加しています。OPACトップページの新着資料の表紙画像を見て、問い合わせをいただくこともあります。

**――情報館がお役に立っているようで嬉しいです。**

導入後もわからないことがあるとすぐにサポートしていただけるので心強いです。まだまだ使いこなせていない機能があると思うので、他のユーザーの事例も参考にしながら、さらに業務の効率化ができればと考えています。

**――今後の展望や予定などがあればお聞かせください。**

情報館になってから書誌ダウンロードができるようになって登録作業がスムーズになったので、なかなか取りかかれていなかったコレクションの遡及入力を進めていきたいと考えています。また、情報館では書誌データの一括変更も容易なので除籍作業の効率も上がりました。定期的な書架の見直し、更新に取り組んでいきたいと思います。

利用者サービスの面では、情報ライブラリーの活動を広く知ってもらうため、OPACだけでなくSNSや外部サイトも活用できればと考えています。今もSNSでのPRは行っていますが今後はそこにOPACへのリンクをつけて誘導する、企画展示のJcross（※）への掲載を続けていくなど…これからも、新たな利用者の獲得をめざしていきたいです。

**――「男女共同参画社会の実現を目指す活動を支援する」という目的に向かって、スタッフの皆さんがとても熱心に仕事をされている様子が伺えました。本日はありがとうございました。**

※「Jcross-図書館と図書館にかかわる人たちのサイト」https://www.jcross.com/

| | |
|---|---|
| システム構成 | 基本システム８台、OPAC4（外部公開） |
| 蔵書数 | 図書約 4.4 万冊、行政資料 1.4 万冊、雑誌 1,700 タイトル、視聴覚資料(DVD)約 1,800 点 |
| 導入年 | 2019年 |

データは2022年10月現在のものです

# 中小規模の図書館に最適な
# ベストセラー図書館システム

## 導入してからも、二人三脚で

### ✔ メーカーの直接サポートだから迅速対応

開発元で、図書館システムの専門メーカーである（株）ブレインテックが直接サポートサービスを行うので、対応が迅速。
お問い合わせやトラブル発生連絡受付後の初動対応の迅速さは、多くのユーザー様からご評価いただいています。

### ✔ シンプルで安定したシステム

全国の中・小規模図書館で選ばれている「情報館」は、安定稼働にも定評があります。さらに、専用のバックアップツールが無くても簡単にデータのバックアップができ、万が一の復旧も容易で迅速です。

### ✔ データのインポート・エクスポートが自在

システムで管理しているほとんどすべてのデータ（資料データ、利用者データ、各種マスタデータ等）がアプリケーション上で自由にテキスト形式でインポート・エクスポートできます。
また、統計・帳票データのエクスポートも可能です。

### ✔ 時代に合わせたバージョンアップ

図書館システムの導入は、ゴールではなくスタートです。5年後、10年後も安心して快適にご利用いただけるように、新OSへの対応やユーザー様からの要望を取り入れたバージョンアップを定期的にご提供しています。

## 「蔵書検索」だけじゃない
## OPAC は「オンライン図書館」へ

### ✔ 図書館のホームページとして

お知らせやカレンダーの表示機能、おすすめ本や展示コーナー紹介として使えるブックリスト機能等、OPAC を図書館のホームページとしてもご利用いただけます。

### ✔ PDF や画像データの公開にも

OPAC のデジタル資料公開機能（オプション）なら、自館発行物や貴重コレクション画像をデジタルアーカイブとして公開できます。

## ブレインテックオープンデーのご案内

毎月第 3 水曜日 展示会場とオンラインの両方で、
毎月異なる展示やイベントを開催！
https://braintech.co.jp/event/

## お問い合わせはお気軽に

無料トライアル、デモンストレーション、オンライン相談は常時承ります


ブレインテック・ライブラリー・リポート　Vol.7

発行日／ 2022年11月1日
発行元／株式会社ブレインテック


〒141-0022 東京都品川区東五反田1-7-6 藤和東五反田ビル 3F
TEL.03-3449-7261　https://braintech.co.jp/

本誌に関するお問い合わせは（株）ブレインテック 広報担当（E-mail publicity@braintech.co.jp）まで